



狛江市議会議員

2015. 10. 13

# 吉野よしこの議会報告

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

## 決算特別委員会

2014年度狛江市一般会計・特別会計決算を認定しました。以下一般会計決算討論(抜粋)

水道局用地の利活用として**都立公園化に向けた基本構想案**の策定に着手できたことを評価します。今後は多くの市民の声を反映して、狛江市の構想をまとめるよう求めます。給食センター新築工事と中学校全4校へのエレベーター設置が実現したことは大きな成果です。**安心安全なまちづくり**においては避難所運営協議会の地域での設置が進みました。**子ども子育て支援**ですが、潜在的な保育需要の掘り起こしという現象に加え子育て世帯の転入が増加している現状も影響し待機児童解消に向けた取り組みは成果を上げたとは言えません。狛江市では順調に増員している家庭福祉委員の支援の充実を求めます。**外遊びができるプレパークの試行開催**を計31日間実施し、子育て中の市民と行政の協働で着実に進めてきました。市民が主体の事業に積極的に取り組んでいる狛江市は、市民力を育て、多世代の交流の場をつくり、孤立しがちな子育て世代がつながることを支援しているといえます。**QUアンケート**については質疑を通し、**子ども側に立った支援になっているとの判断を導きません**。いたわりのあるまちづくりとしては、第4期介護保険事業計画から削除した**小規模多機能型居宅介護が1か所実現**することになりました。**市民食堂**については一定の評価をしますが、賃料なども破格に安く設定しているので、**メニューの改善や値段の見直し、地域貢献の質の向上など、事業者の努力が必要です**。**市民参加と市民協働**は審議会からの提言を速やかに取り入れ、無作

為抽出による公募市民委員の募集や行政提案型市民協働事業を新たにスタートさせたことを評価します。**市民活動支援センター**は、財政、施設の継続利用、市民協働の拠点としての利便性など総合的な判断のもと、**小田急高架下分室が選定**されました。市民参加・市民協働はまちづくりの基本です。行政・市民ともに多くの市民参加の手法を経験しながら成長することが重要です。世界の誰も知らない超高齢少子社会では、どの自治体でも自立を目指し、対話を重んじ、将来世代に希望と責任ある政策を実行しなければなりません。**臨時財政対策債の発行を抑制し財政規律を遵守し**、狛江のストレングスを最大限生かす独自性ある政策を実現しています。今後も**市民への説明責任を果たし、透明性ある市政運営**を要望します。

## 一般質問

### ◇狛江市の貧困対策～SOSの声に応える支援を

食の支援、学習支援、居場所については市としても必要性は認めています。**子どもの貧困の実態把握と具体的な支援**を要望しました。**生活保護**の受給状況と適正な運用について質し、この制度が**セーフティネット**として機能するよう要望しました。

その他、**DV被害者と子どもの安全確保**のための全庁的な対策と市での危機管理体制の構築、**野川の水質改善**などの課題などを取り上げました。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL 03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

[komanet.seikatusya@nifty.com](mailto:komanet.seikatusya@nifty.com)